

●特別賞

芝浦・海岸地区特定街区

「東芝ビルディング・東京ガスビルディング」

BUILDINGS FOR TOSHIBA AND TOKYO GAS

所在地	東京ガスビル／東京都港区海岸 1-5-20	location	Tokyo
	東芝ビル／東京都港区芝浦 1-1-1	owners	Tokyo Gas Building: Tokyo Gas Co., Ltd. Toshiba Building: Minato Tatemono Co., Ltd. and The Dai-ichi Mutual Life Insurance Co.
建築主	東京ガスビル／東京ガス株式会社	architects	Tokyo Gas Building: Mitsubishi Estate Co., Ltd. Toshiba Building: Shimizu Construction Co., Ltd.
	東芝ビル／港建物株式会社 第一生命保険相互会社	contractors	Tokyo Gas Building: Shimizu Construction Co., Ltd. Toshiba Building: Shimizu Construction Co., Ltd. and Kajima Corporation
設計者	東京ガスビル／三菱地所株式会社	completion date	Tokyo Gas Building: February, 1984 Toshiba Building: March, 1984
	東芝ビル／清水建設株式会社		
施工者	東京ガスビル／清水建設株式会社		
	東芝ビル／清水建設株式会社 鹿島建設株式会社		
竣工	東京ガスビル／1984年 2月 8日		
	東芝ビル／1984年 3月 12日		





東芝ビルプラザ Plaza.



エントランスホール Entrance hall.



低層棟エントランス Entrance to the low rise wing.



22階東芝受付けホール Reception hall on the 22nd floor.



役員階ラウンジ Lounge for directors.

建築概要

敷地面積 34,525㎡ (既存建物を含む)

建築面積 14,741㎡

延床面積 162,612㎡

構造 高層部地上：鉄骨造 高層部地下：鉄骨鉄筋コンクリート造 低層部：鉄筋コンクリート造

規模 地下3階 地上40階 塔屋1階

仕上げ概要

外部仕上げ 高層部 屋根：アスファルト断熱防水絶縁工法軽量ウレタン仕上げ 伸縮目地/ウレタン@3,000mm×3,000mm充填 外壁：アルミプレートカーテンウォール (AL25) ⑦2.5mm 2次電解着色⑦22±4μ 建具：アルミ押出型材 (63S・T5) 2次電解着色⑦22±4μ 低層部 屋根：アスファルト断熱防水絶縁工法コンクリート押え 2丁掛垢器質タイル 外壁：2丁掛特殊山型磁器質タイル 建具：ステンレス鏡面仕上げ

内部仕上げ 基準階事務室 床：ナイロンループパイルカーペット⑦7.5mm 壁：PB EP 天井：長尺岩綿吸音板システム天井

1階エントランスホール 床：大理石 (アンゴラ産モカンガ・南ア産インパラ) 壁：アルミパネル2次電解着色⑦2.5mm 天井：アルミ押出型材ポリウレタン樹脂塗装 1階コンコース 床：2丁掛垢器質タイル及び外国産御影石 壁：2丁掛垢器質タイル 天井：アルミパネル曲加工パネル及びアルミ押出型材ポリウレタン樹脂塗装

設備概要

電気 受変電：ループ受電66KV 変圧器7,500KVA×2台 (ガス絶縁式) 非常用発電機：2,000KVA 6.6KV水冷循環式 (A重油) 蓄電池：鉛蓄電池1,500AH (地下2階非常照明) 鉛蓄電池1,200AH (40階非常照明) 電灯：一般事務室 FL40W×2 システム天井 埋込型器具省電力型

空調 熱源：芝浦地域冷暖房から供給される冷水と蒸気を使用 方式：各階冷暖房換気設備 (地域冷暖房) 暖・冷房方式 基準階/インテリア・ペリメータ可変同量単一ダクト全空気方式

衛生 給水：水道本管より200mmφ引込み 高置水槽による重力給水方式 給湯：一般給湯/熱交換器による下向給湯方式 飲用給湯/貯湯式湯気湯沸器 排水：一般排水・厨房排水を処理し中水道として再利用 夜間貯留槽により排水量調整

消火 屋内消火栓 連結送水管 スプリンクラー 泡消火 ハロンガス 粉末消火

東京ガスビル TOKYO GAS BUILDING



南側遠望 General view of the south side.



2階エントランスロビー Entrance lobby on the 2nd floor.



基準階事務室 Standard floor.



デジジョンルーム Conference room.



プロムナード Promenade.

建築概要

敷地面積 17,379㎡

建築面積 7,966㎡

延床面積 80,726㎡

構造 地階：鉄筋コンクリート造 地上階：鉄骨造

規模 高層棟：地下2階 地上27階 塔屋1階
中層棟・接続棟 地上3階

仕上げ概要

外部仕上げ 屋根：アスファルト防水軽量コンクリートこて押え 外壁：アルミカーテンウォール

内部仕上げ 玄関ホール 床：大理石 壁：アルミパネル 天井：岩綿吸音板 一般事務室 床：ビニアスタイル 壁：プラスターボード下地クロス貼り 間仕切り：スチールパーティション 天井：岩綿吸音板
電気 受変電：ループ受電20KV3,500KW 非常用発電機：都市ガス及びA重油使用ガスタービン1,000KW×1台 ガスタービン発電(都市ガス使用のコミュニティエネルギーシステム) 2,000KW (1,000KW×2台) ボイラー・ガスタービンの廃熱を蒸気として空調熱源に利用

空調 熱源：地域冷暖房センターから受入れ方式：基準階を4系統に分割した各階空調方式とファンコイルユニット併用一部VAV方式を採用

衛生 給水：受水量126㎡/日 中水：雑用水・地域冷暖房フロー水の再利用 能力150㎡/日 節水量約120㎡/日

消火 全館スプリンクラー 屋内消火栓 泡消火(駐車場) ハロンガス(電気室) 連結送水管 消防用水槽

文字通り日進月歩。日本の建築界の進歩の早さは驚くばかりである。地震と台風を克服した超高層建築に感服したのはつい先年であったが、今は、超高層はあたりまえになって、それだけでは建築業協会賞の対象にもならなくなった。超高層といえども、一般の建築と同じように、デザインと施工とが渾然として高い水準に達していなければならないのである。

芝浦・海岸地区特定街区は、東芝ビルディングと東京ガスビルディングの2棟の超高層を含む、大型の再開発であるが、これらの超高層ビルのデザインや技術は、すでに他に同類があり、今回応募した他の優秀作を越えるものではないという意見が多かった。

しかし、国鉄の駅裏という立地の悪さ、倉庫群によされた環境の悪さなど、さまざまな問題点を解決して、この周辺一帯を含めた土地利用を一挙にレベルアップした計画は、日本の再開発の中でも注目すべきものがあり、これを何らかの方法で評価したいという意見が勝ち、建築業協会賞特別賞をうけることとなった。

東京浜松町の駅裏は、新幹線・東海道線・横須賀線などにへだてられ、さらにうしろは海になるベルト状の地区で、交通の便が少ない都市の中の孤島のような地区である。そのた

めに、倉庫などの土地利用に片寄り、その他の利用は殆ど不可能に近い地区であった。

そこでまず、国鉄浜松町駅の改造を行い、橋を架けて駅裏に国鉄の出入口を新設したが、鉄道の上の橋の施工の難しさもさることながら、関係官庁や国鉄との折衝にも少なからぬ困難があったはずである。

将来は東京湾をへだてて対岸とも橋で結び、この地域一帯の面目を一新する計画もあり、広い視野の中での地区の再開発という、教科書通りの計画を行っている。

一方、隣接する土地との関係にも、心くばりがあり、たとえば旧芝離宮恩賜公園に接する東京ガスビルディングの空地には、大量の植樹をして、環境の連続を試みている。東芝ビルディングのまわりには広大な空地を設け、イベントのプラザと公園とでこの地区の面目を一新している。周辺の土地のための交通計画も配慮され、水準の高い再開発ということが出来る。

以上このような再開発は、これからの建築界の重要な仕事になると思われるので、芝浦・海岸地区特定街区の計画水準を評価し、今後の参考に資する必要があると考え、表記の受賞になった次第である。

REVIEW Fumihiko Maki, Masato Otaka and Yoshiaki Kuramoto

Though it was only a few years ago that Japanese architecture triumphed over earthquakes and typhoons to move into the field of high-rise buildings, such structures are now considered so commonplace that height alone no longer entitles a work to consideration for a BCS Prize. The same degree of design and construction excellence is expected from all architecture, whether high-rise or not.

Some of the judges felt that the recently completed, massive high-rise Toshiba and Tokyo Gas buildings, which are part of a redevelopment plan for the whole Shibaura-shore region, were not superior to several other projects submitted for consideration as BCS-prize applicants. But the overriding opinion was a desire to recognize in some way a project that, in spite of very difficult

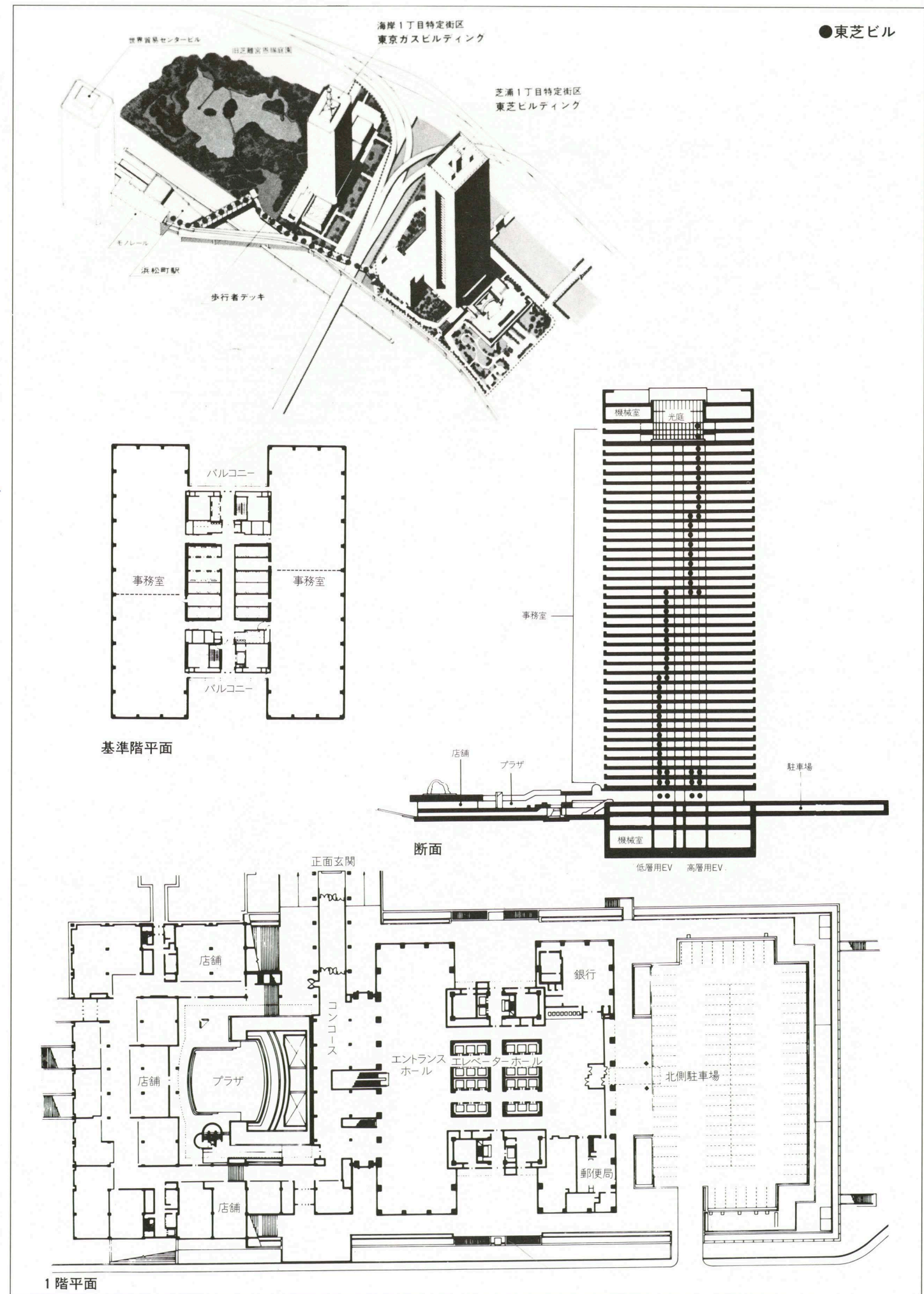
environmental conditions on plots in a warehouse district behind a National Railways station, contributes to the improvement of its whole neighborhood. Consequently, since it was felt that a project of this kind deserves notice within the whole context of urban redevelopment in Japan, the buildings have been given a special BCS Prize.

Shut off by several train lines on one side and by the shore on the other, the district is like an island with very little in the way of transportation amenities. This isolation is the main reason why nothing but warehouses were built there in the past.

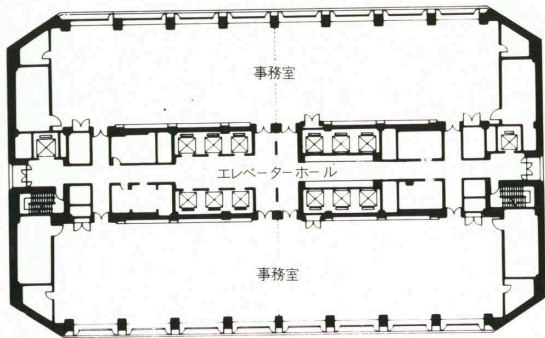
In the broad view, this textbook-style redevelopment plan is far-reaching. A first step was the opening of a new entrance-exist on the rear side of the nearby National Railways Hamamatsu Station and the construc-

tion of a bridge crossing the railway tracks. This construction proved very difficult. Still more future-oriented is the proposal to link Tokyo with the opposite side of Tokyo Bay by means of a bridge. Such a step would have a highly invigorating effect on redevelopment in this region.

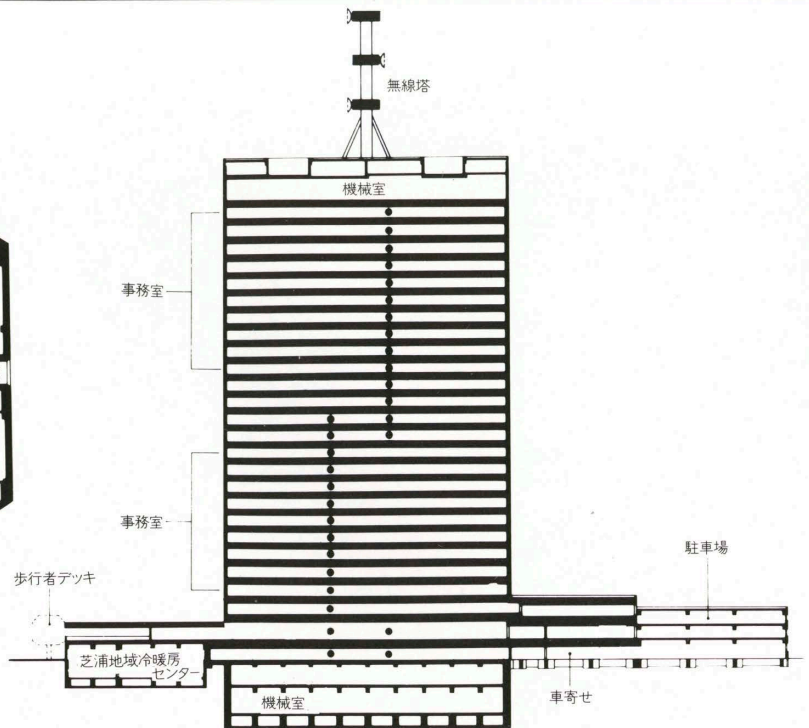
Care to take measures to protect and improve relations with neighboring sites too is characteristic of this high-level redevelopment project. For instance, large trees have been planted around the Tokyo Gas Company, which stands next to a park at the location of the former Shiba Detached Palace. Extensive planted open spaces and plazas for various events surround the Toshiba Building.



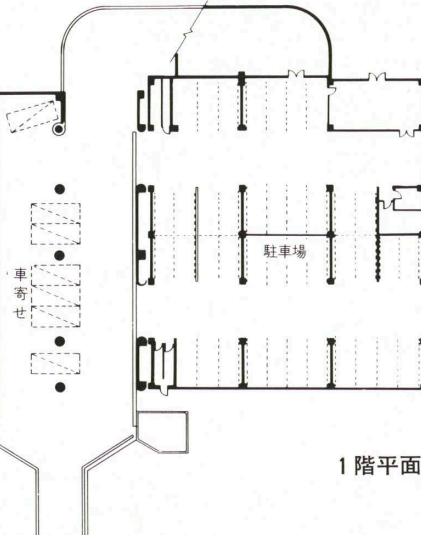
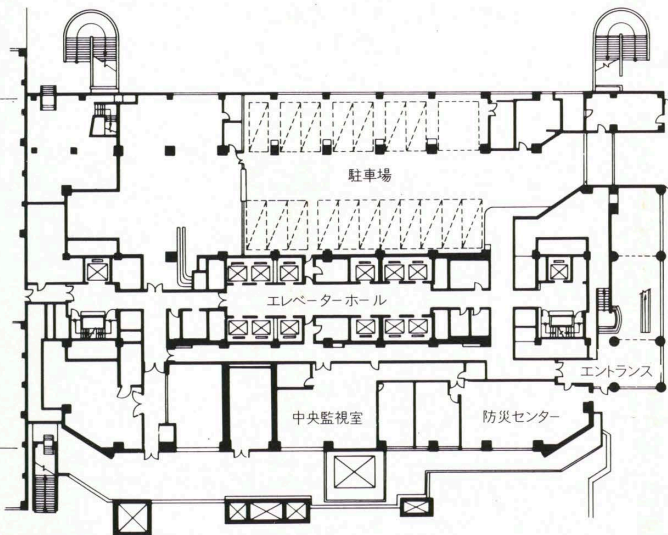
●東京ガスビル



基準階平面



断面



1階平面

